

巻き枯らし区枯損状況

遠景写真1

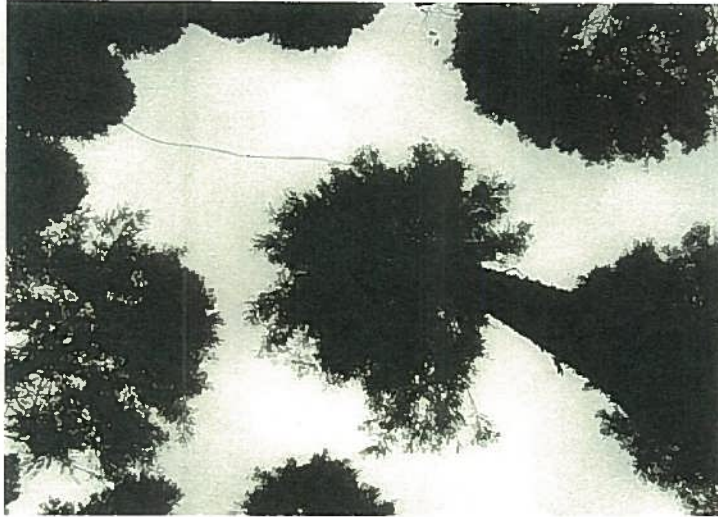


遠景写真2



各プロットの樹冠配置

プロット1 (切り捨て区)



プロット2 (切り捨て区)



プロット3 (巻き枯らし区)



プロット3 (巻き枯らし区)



巻き枯らし木折損状況及び樹液流動確認状況

根元側（下部）



折損状況



梢端部側（上部）



樹液流動確認状況



植生侵入状況（切り捨て区）

ヒサカキ



ネムノキ



ヤマショウガ



スギ



植生侵入状況（切り捨て区）

アオキ



キイチゴ



イイギリ



イヌビワ



植生侵入状況（切り捨て区）

スギ



クサギ



ヤブコウジ



植生侵入状況（巻き枯らし区）

アオキ



イヌビワ



ネムノキ



フジカズラ



植生侵入状況（巻き枯らし区）

アオキ



ヤマショウガ



溪畔林の植生（設定時）

調査年月日 平成16年3月2日

プロット1（切り捨て区）

広葉樹	針葉樹	草本類
シロタブ	イヌカヤ	カンイチゴ
ツクハネ萩シ		ヘクソカズラ
アオキ		ヤマモカズラ
ミズキ		キノネブドウ
ハゼノキ		
ムラサキシブ		
ヤマゲリ		
ゴジイ		
ヤマザクラ		
ハリアリノキ		
ヤマツバキ		
ウラボシ		
ヘニクダ		

プロット2（巻き枯らし区）

広葉樹	針葉樹	草本類
アオキ		カンイチゴ
カキ		ヘクソカズラ
ミズキ		ヤマモカズラ
ヤブケイシ		キノネブドウ
ニレ		
ゴジイ		
クロガネモチ		
エキ		
初ミチ		
シロタブ		
ムラサキシブ		
ハリアリノキ		

溪流沿い

広葉樹	針葉樹	草本類
ネムノキ		
タラシ		
ミズキ		
ゴジイ		
ツクハネ萩シ		
ヤブケイシ		
イタドリ		
ツバキ		
ヤマカキ		
シロタブ		
アカハシ		

林況記録写真（間伐前）

宮崎南部森林管理署



林況記録写真（間伐前）

宮崎南部森林管理署



林況記録写真(間伐後)

宮崎南部森林管理署



林況記録写真（間伐後）

宮崎南部森林管理署



各プロット立木調査表

プロット1

番号	樹種	径級	樹高
No, 1	スギ	26	15
No, 2	〃	18	13
No, 3	〃	18	13
No, 4	〃	24	14
No, 5	〃	22	13
No, 6	〃	18	12

プロット2

番号	樹種	径級	樹高
No, 1	スギ	18	13
No, 2	〃	26	16
No, 3	〃	26	16
No, 4	〃	18	14
No, 5	〃	26	15
No, 6	〃	16	12

プロット3

番号	樹種	径級	樹高
No, 1	スギ	18	13
No, 2	〃	20	13
No, 3	〃	30	16
No, 4	〃	24	14
No, 5	〃	20	14
No, 6	〃	30	15

プロット4

番号	樹種	径級	樹高
No, 1	スギ	20	13
No, 2	〃	18	12
No, 3	〃	24	13
No, 4	〃	24	13
No, 5	〃	22	13
No, 6	〃	18	11

技術開発実施報告・計画

宮崎南部森林管理署

課 題	5 溪畔林の施業技術の開発				開発期間	平成15年度～平成34年度			
開発箇所	和当地国有林 127か林小班	担当部署	指導普及課	共同研究 機 関	森林総研	技術開発 目 標	1	特定区域 内 外	●
開発目的 (数値目標)	溪流沿いの針葉樹単層林を公益的機能の発揮が一層期待される針広混交林等へ誘導するため、溪畔林地特有な植生を 図るための更新方法、林地保全に配慮した伐採・搬出等の施業技術の開発が重要であることから、溪流沿いの針葉樹単 層林を種の多様性に富んだ針広混交林等へ誘導する施業技術の確立を図る。								
年度別実施報告			19年度 実施報告				20年度 実施計画書		
			実施内容		普及指導		1 植生侵入調査 2 生長量調査 3 表土流失状況 4 照度調査		
1 試験地設定 (1) 時期 平成15年4月1日 (2) 場所 和当地国有林127か林小班 (3) 面積 0.31ha (4) 間伐切捨て区及び巻枯らし区をそれぞれ 2プロット設定 (5) 平成16年3月に切捨て間伐及び同年4 月に巻枯らしを実施 (6) 平成16~18年度実施事項 植生侵入調査 生長量調査 表土流失状況 照度調査 (7) 平成17年度実施事項 巻き枯らし樹液流動状況 キバチ被害調査 (8) 平成18年度実施事項 巻き枯らし樹液流動状況			1 植生侵入調査 2 生長量調査 3 表土流失状況 4 照度調査						
技術開発委員会における意見									

- (注) 1 「課題」欄には、技術開発課題名の他に番号を付して記入すること。
- 2 「特定区域内外」欄には、技術開発課題の実施箇所について、特定区域内は「○」、特定区域外は「●」、特定区域内外両方は、「◎」のいずれかを記入すること。
- 3 「技術開発目標」欄には、「九州森林管理局における技術開発目標（九州森林管理局長通達）」の1～5のうち、該当する目標の番号を記入すること。
- 4 「技術開発委員会における意見」欄には、技術開発委員会における意見を記入すること。

表土流失状況

表土流出の有無については、前回平成18年度調査同様、土砂流出は見られなかった
(別紙林内写真等参照)

溪畔林の植生調査 (間伐後)

切り捨て区域

H19. 11. 7

イヌビワ



ヤブニッケイ



ヒサカキ



溪畔林の植生調査 (間伐後)

巻き枯らし区域

H19. 11. 7

ヤブツバキ



アオキ



ヤブミョウガ



溪畔林の植生調査 (間伐後)

巻き枯らし現状

H19. 11. 7



溪畔林の植生調査 (間伐後)

巻き枯らし上部現状

H19. 11. 7



溪畔林の植生調査 (間伐後)

林内状況

H19. 11. 7









様式 2

技術開発実施報告・計画

宮崎南部森林管理署

課 題	5 溪畔林の施業技術の開発				開発期間	平成15年度～平成34年度			
開発箇所	和当地国有林 127か林小班	担当部署	指導普及課	共同研究 機 関	森林総研	技術開発 目 標	1	特定区域 内 外	●
開発目的 (数値目標)	溪流沿いの針葉樹単層林を公益的機能の発揮が一層期待される針広混交林等へ誘導するため、溪畔林地特有な植生を図るための更新方法、林地保全に配慮した伐採・搬出等の施業技術の開発が重要であることから、溪流沿いの針葉樹単層林を種の多様性に富んだ針広混交林等へ誘導する施業技術の確立を図る。								
年度別実施報告		20年度 実施報告				21年度 実施計画書			
		実施内容		普及指導		1 植生侵入調査 2 成長量調査 3 表土流失状況 4 照度調査			
1 試験地設定 (1) 時期 平成15年4月1日 (2) 場所 和当地国有林127か林小班 (3) 面積 0.31ha (4) 間伐切捨て区及び巻枯らし区をそれぞれ2プロット設定 (5) 平成16年3月に切捨て間伐及び同年4月に巻枯らしを実施 (6) 平成16～18年度実施事項 植生侵入調査 成長量調査 表土流失状況 照度調査 (7) 平成17年度実施事項 巻き枯らし樹液流動状況 キバチ被害調査 (8) 平成18年度実施事項 巻き枯らし樹液流動状況		1 植生侵入調査 2 成長量調査 3 表土流失状況 4 照度調査							
技術開発委員会における意見									

各プロット立木調査表

調査年月日 平成20年12月8日

プロット1

番号	樹種	径級(cm)	樹高(m)
No. 1	スギ	31.8	18.1
No. 2	"	22.3	18.0
No. 3	"	22.7	16.5
No. 4	"	30.8	18.3
No. 5	"	28.3	17.9
No. 6	"	22.4	16.2

プロット2

番号	樹種	径級(cm)	樹高(m)
No. 1	スギ	22.2	17.4
No. 2	"	31.5	19.5
No. 3	"	34.2	19.7
No. 4	"	21.7	18.5
No. 5	"	31.8	18.7
No. 6	"	20.7	16.3

プロット3

番号	樹種	径級(cm)	樹高(m)
No. 1	スギ	22.3	18.7
No. 2	"	26.0	16.8
No. 3	"	40.0	20.3
No. 4	"	30.2	18.6
No. 5	"	31.2	18.5
No. 6	"	39.1	19.3

プロット4

番号	樹種	径級(cm)	樹高(m)
No. 1	スギ	27.5	16.9
No. 2	"	22.6	17.0
No. 3	"	27.9	17.9
No. 4	"	27.9	16.5
No. 5	"	27.1	17.2
No. 6	"	22.0	16.2

前回調査との成長量の比較

前回調査年月日 平成19年11月 7日

今回調査年月日 平成20年12月 8日

プロット1

番号	樹種	径級(cm)	樹高(m)
No. 1	スギ	1.3	0.3
No. 2	"	0.3	0.1
No. 3	"	0.6	1.1
No. 4	"	1.5	1.1
No. 5	"	0.6	0.8
No. 6	"	0.9	0.6

プロット2

番号	樹種	径級(cm)	樹高(m)
No. 1	スギ	1.0	0.3
No. 2	"	1.5	0.4
No. 3	"	1.5	0.3
No. 4	"	0.8	0.7
No. 5	"	1.2	0.1
No. 6	"	0.7	0.8

プロット3

番号	樹種	径級(cm)	樹高(m)
No. 1	スギ	0.9	0.3
No. 2	"	1.5	0.0
No. 3	"	2.1	0.9
No. 4	"	1.1	0.3
No. 5	"	1.5	0.0
No. 6	"	1.8	0.2

プロット4

番号	樹種	径級(cm)	樹高(m)
No. 1	スギ	1.5	0.0
No. 2	"	1.1	0.2
No. 3	"	0.9	0.5
No. 4	"	0.8	0.4
No. 5	"	1.5	0.3
No. 6	"	1.3	0.3

表土流失状況

表土流出の有無については、前回平成19年度調査同様、土砂流出は見られなかった
(別紙林内写真等参照)

各プロット林内照度調査(間伐実施前)

調査月日	H16. 3. 5
調査時間	AM 9:20
天候	晴
プロット1	1,000
プロット2	800
プロット3	700
プロット4	550

各プロット林内照度調査(間伐実施後)

調査月日	H16. 4.18	H17. 3. 3	H17. 9.27	H18.11.29	H19.11.7	H20.12.8				
調査時間	AM 9:30	AM 9:30	AM 11:00	AM 11:00	AM 11:00	AM 9:30				
天候	晴	晴	晴	晴	曇り	曇り				
プロット1	2,850	2,100	4,800	4,326	2,480	1,592				
プロット2	2,600	2,150	4,100	4,514	4,221	1,601				
プロット3	800	500	2,500	2,955	2,015	844				
プロット4	1,050	700	1,900	2,771	2,106	783				

溪畔林の植生状況 (間伐後)

切り捨て区 林内状況

